

課題 16 アフリカって何だ！

2019年にTICAD7が日本で開催されました。TICADは、1993年以降、日本政府の主催で開催されているアフリカの開発をテーマとする国際会議です。

現在の日本では、アフリカの国や人々とともに成長していこうという機運が高まっています。それにはいろいろな議論や思惑もありますが、少なくとも「日本はアフリカなくしては成長できない」という共通認識があると言えるでしょう。

残念ながら、高校までの学習では、アフリカについて学ぶ機会はあまり多いとは言えません。アフリカについての誤解や偏見、あるいは美化などがときおり見られるのはそのせいかもしれません。正しくアフリカを理解するためには、歴史、民族、社会、経済、国際政治から環境問題まで広く知る必要があります。

そこで大学入学までの間、アフリカについて学んでみませんか。さらに面白い世界が開けてくるはずですよ。

課題

(1) アフリカを地球儀で見よう

日本との距離、ヨーロッパとの近さ、大西洋の先は南北アメリカ、国の数(いくつかの国を知っているか)、国境線の不思議、砂漠からジャングル(熱帯雨林)まで、など地理的に知ってみよう。

(2) 映画でアフリカ体験

「遠い夜明け」、「インビクタス」、「ブラッド・ダイヤモンド」、「ホテル・ルワンダ」など、アフリカに関する映画は多数あります。

(3) 産物追跡

スーパーマーケットなどでアフリカ産のものを探して見ましょう。海産物、野菜、果物、嗜好品(コーヒー、紅茶、チョコレート)、などアフリカから来たものが身近にはたくさんあります。

(4) やっぱり読書

紀行文、旅行書、ノンフィクション、小説、伝記、冒険・探検書など。これもネット検索で多くの情報が得られます。是非とも数冊は読んでください。

(5) なぜアフリカを知るのか

資源・エネルギー、貿易(輸出入)、マーケット、国連でのアフリカ、旅行や観光など、意外に日本とアフリカの関係は深いのです。

知ることは楽しいこと。

女性の活躍はアフリカ大陸がもっとも盛んです。ご存知でしたか。